

令和5年度 看護職員院内研修

目的：専門職者として一人ひとりの患者にとって最善のケアを提供できる

目標：1. 倫理的感性を持ち看護を提供できる 2. 論理的思考に基づいた看護を提供できる 3. 科学的根拠(知識)と観察に基づいて判断し看護技術を提供できる 4. 教育的な関わりを習得できる

研修科目	対象	目的	目標	日時(予定)	講師(予定)	場所(予定)		
採用時研修	病院の概要と体制	新採用看護職員71名	佐賀大学医学部附属病院の一員として自覚を持ち、職場への適応ができる	①佐賀大学医学部附属病院および看護部の概要を知り、組織の一員として自分の役割を考慮することができる ②社会人として求められる態度、姿勢を述べることができる ③チーム医療におけるコミュニケーションと、倫理的態度について述べることができる ・図書館の利用説明	4/3(月)～4(火)	病院長・看護部長 教育専任看護師長 事務職員	看護学科講義室5101	
				・多職種合同研修(医療安全)	4/7(金)午後	副薬剤部長 医療安全担当看護師長	看護学科講義室5101	
				・職場の安全衛生 ・電子カルテシステム	4/7(金)午後	産業医	看護学科講義室5101	
	看護の責務と役割	新採用看護職員71名	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	日常業務の中で果たす看護の役割を述べることができる	4/5(水)午前	副看護部長 感染対策担当看護師長 教育専任看護師長	臨床小講堂3114	
	施設設備等の安全			①電気・機械・医療ガス設備の安全な取扱いについて述べることができる ②防災・消防設備について述べることができる	4/5(水)午前	施設課職員	臨床小講堂3114	
	与薬			①投薬に関する指示受けから実施までの手順を述べることができる ②薬剤の作用機序、効能・副作用を理解し、正確に投与できる	4/14(金)午前・午後 2組に分けて	医療安全担当看護師長 教育専任	看護学科講義室5101	
	輸液管理(1)	新採用看護職員71名	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	安全で確実な輸液管理ができる	4/21(金)午前・午後 2組に分けて	副薬剤部長 教育専任	看護学科3階実習室	
	輸液管理(2)			①輸液・シリンジポンプを使用する薬剤を述べることができる ②輸液・シリンジポンプの原理と使用方法を述べることができる	7/14(金)午前・午後 2組に分けて	医療安全担当看護師長	講義実習棟3階 スキルラボ	
	採血			①適切な穿刺部位を述べることができる ②安全な手技による採血を実践できる ③検体の適切な取扱い方法を述べることができる	5/8(月)～5/11(木) 22G(3人/6) 各グループ70分	教育専任	看護研修室	
	フィジカルアセスメント			①症状や兆候から看護につなげるアセスメントができる ②フィジカルアセスメントで活用する技術を実践できる	9/1(金)午前・午後 2組に分けて	集中ケア認定看護師(仮)	看護学科3階実習室	
急変時対応I	①フィジカルアセスメントを活用して急変の予兆を考慮 ②急変時の初期行動について述べることができる			10/6(金)午前・午後 2組に分けて	急性・重症看護専門看護師	講義実習棟3階 スキルラボ		
輸血	①輸血の正しい取扱いについて述べることができる ②輸血を受ける患者の看護について述べることができる			10月	看護部・輸血部	e-learning		
多重課題	新採用看護職員71名	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	多重課題への対応の基本を理解し、実践に活かす	①多重課題の対応の基本について述べることができる ②自らの多重課題の対応のあり方に気づくことができる	2/2(金)午前・午後 2組に分けて	教育専任	看護学科3階実習室	
看護記録			POSを理解し正確な看護記録ができるための知識を修得する	①POSについて述べることができる ②看護記録マニュアルに沿った記録方法を述べることができる	4/28(金)午前	教育専任	医学科第一講義室1	
看護倫理I			看護職の行動は倫理綱領に基づくものであることを理解し、実践する	看護職の倫理綱領を説明できる	11/2(金)午前・午後 2組に分けて	慢性疾患看護専門看護師	講義実習棟3階 スキルラボ	
事例検討I			実践した看護ケアを評価し、実践に活かす	患者の状況やニーズの変化に応じたケアができたか振り返る	12/1(金)午前・午後 2組に分けて	教育専任	講義実習棟3階 スキルラボ	
ストレスマネジメント リフレッシュ研修			ストレスマネジメントについて理解し職場への適応につなげる	ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法を身につける	6/9(金)午前	検討中	臨床小講堂3114	
ステップII	基本的看護技術	卒後2年目	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	①適切な穿刺部位を述べることができる ②静脈注射実施マニュアルの手順に沿って、実践できる(側管注を含める)	7/18(火)～21(金) 15G(3人/6)各グループ1時間	教育専任	看護研修室	
				①フィジカルアセスメントを活用して急変の予兆を考慮 ②重症度と緊急度を判断し看護ケアの検討ができる	2/16(金)午前・午後 2組に分けて	救急看護認定看護師	看護学科3階実習室	
				逝去時の患者・家族への対応を述べることができる	9月	教育委員	e-learning	
	看護過程	卒後2年目	倫理的に問題が生じていることに気づき、実践する	日常ケアにおける倫理的問題に気付くことができる	11/24(金)午前・午後 2組に分けて	がん看護専門看護師	看護研修室	
	卒後4年目			倫理的に問題である理由を理解し、実践する	6/23(金)午前・午後 2組に分けて	慢性疾患看護専門看護師	看護研修室	
	指導教育	はじめてプリセプターを担う者 希望者	プリセプターの役割と機能を理解し、プリセプティを支援する	①プリセプターの役割を述べることができる ②新人看護師の特性を述べることができる	5/19(金)午前・午後 2組に分けて	教育委員	看護研修室	
				プリセプターとしての実践を評価し課題を明確にできる	12/8(金)午前・午後 2組に分けて	教育委員		
	ステップIII	基本的看護技術	ラーダーII以上 インチャージャー 経験者	臨床推論を実践に活かす	①臨床推論のプロセスを述べることができる ②臨床推論の看護への活用方法を述べることができる	12/15(金)午前	特定行為研修修了者	看護研修室
					看護研究(1)	ラーダーII 取得以上の希望者	看護研究をとおして看護を深める	①看護研究の意義を述べることができる ②看護研究の基本的知識を身につける
		看護研究(2)	看護研究における倫理的配慮を述べることができる	10/13(金)午前				
看護過程		ラーダーII 取得以上の希望者	自部署の倫理的課題に気づき、対処する	自部署の倫理的課題に気づき、解決方法を検討できる	6/2(金)午前	慢性疾患看護専門看護師	看護研修室	
				取り組みを共有し、課題を明確にできる	1/19(金)午前			
論理的思考		ラーダーII以上 インチャージャー 経験者 部署より1名以上	論理的な思考に基づいた看護を実践する	①論理的な思考方法を述べることができる ②問題解決のための思考プロセスを身につける	7/28(金)午前	看護学科 統合基礎看護学講座 坂本貞子	看護研修室	
				潜在している問題を明確にし、医療チームの一員として協働し、個性を踏まえた看護過程が展開できたか、リフレクションする	8/2(水)午前	教育専任	看護研修室	
指導教育		役割にある者 1名以上	効果的な実習指導を行うための体制を整備する	臨床実習指導者の役割を述べることができる	5/12(金)午前	看護学科 統合基礎看護学講座 古島智恵	看護研修室	
				臨床実習指導者としての実践を振り返り課題を明確にできる	2/22(木)午前			
		新人教育担当者(1)	新人看護師と新人指導者を支援するための体制を整備する	①新人教育担当者の役割と新人教育支援体制を述べることができる ②教育的関わりや精神的支援の必要性を説明できる	5/26(金)午前	教育専任	看護研修室	
	①教育的な関わり方(コーチング・リフレクション)を身につける ②新人教育担当者としての実践を振り返り後期に向けての課題を明確にできる			9/29(金)午前	産業カウンセラー			
	新人教育担当者としての実践を共有し課題を明確にできる			2/9(金)午前	教育専任			
看護管理	がーII取得以上の者 各部署より1名	リスクマネジメントと事故防止行動を理解できる	①日々の看護実践に潜むリスクについて再認識できる ②事象の根本原因を分析する方法を身につける	11/17(金)午前	医療安全管理担当 看護師長	看護研修室		
ステップIV	事例検討IV	ラーダーIII 取得以上の者	実践した看護ケアの妥当性をケアマネジメントの視点で評価し、実践に活かす	①継続的視点を持った看護過程が展開できたか、リフレクションする ②患者・家族の自己決定に向けて看護ケアを行うことができたか、リフレクションする	10/20(金)午前	教育専任	看護研修室	
	リーダーシップ(1)	ラーダーIII 取得以上の者 部署より1名 または 希望者	リーダーシップを発揮し、ケアマネジメントができる	①看護チームマネジメントの基本を説明できる ②自らのリーダーシップのあり方に気づくことができる	7/7(金)午前	看護部長	看護研修室	
				リーダーシップを発揮した実践を共有し、課題を明確にできる	12/22(金)午前			
管理	部署における 質改善実践報告会	看護部長 副看護部長	看護管理者としての論理的思考力を高め、PDCAサイクルを活用したケアの質の改善・向上を図る	実践報告をとおして、ケアの質の改善における成果を共有することができる	3月		オンデマンド	
全体研修	講演		未定	未定	10月予定	未定	臨床大講堂 臨床小講堂	
	看護研究発表会	全職員	専門職人としての研究的視点を養う	看護研究の発表をとおし成果を共有することができる	1/26(金) 17:30～19:00	—	臨床大講堂 臨床小講堂 状況に応じて オンデマンド	
	看護実践報告会		専門職人の責務として自己研鑽に努め能力の維持向上を図る	部署や個人の取り組んだ看護実践の成果を共有することができる		—		
看護助手研修	看護助手	看護助手として必要な知識・技術・態度を身につけ安全に業務を遂行する	①看護助手業務の役割を理解できる ②看護助手業務内容を知り実施できる	①6/29(木)②9/7(木) ③1/26(金) 午前午後2時間ずつ2組に分けて	教育委員	看護研修室		
静脈注射 (末梢静脈留置針)	既卒者・ 中途採用者・ 復帰者	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	静脈注射実施マニュアルの手順に沿って、実践できる	随時実施	教育専任	看護研修室		
静脈注射 (抗がん剤の静脈注射)	静脈注射の研修受 講済の者、化学療 法従事者	安全で正確な看護技術を実践するための知識・技術を修得する	①抗がん剤末梢静脈ルートの確保を安全に実践できる ②血管外漏出の予防対策を述べることができる ③血管外漏出時の対応を述べることができる ④過敏症時に対応を述べることができる	年2回 時間内	がん看護専門看護師 がん化学療法認定看護師	看護研修室		